

★ 本日の卓話 地区職業奉仕委員 佐藤志郎様
 職業奉仕が難解であると言われます。「職業」とは金を儲ける為の手段であり、受益者は自分ですが、一方は「奉仕」とは一般的に誰か他の人のためにするもので、受益者は自分以外です。受益者の違う二つの言葉がくっついて「職業奉仕」という言葉になりますと、何か違和感を覚えてしまいます。さて、職業奉仕が何かと言ってしまうならば、「ロータリーの目的」の主文の後の第2項、「職業上の高い倫理基準を保ち、・・・ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」ということになり、職業倫理の運動であるといえます。1908年に、A・F・シェルドンが入会します。シェルドンは1902年にシカゴでシェルドン・ビジネス・スクールを設立し、そこで教えていた経営学の理念「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」を、物質的相互扶助の代わりに、ロータリー持ち込もうとしました。シェルドンの奉仕理念は、継続的な事業の発展を成し遂げるためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践と捉えて、原理原則に基づいた企業経営をすべきと考えるものです。シェルドンの提唱した職業奉仕の理念「He profits most who serves best」は、「超我の奉仕 (Service above self)」と共に決議

23-34としてセントルイス国際大会で採択され、これにより現在まで続いているロータリーの理念と原則が確定されたと言えます。ロータリー活動において職業奉仕がどのように適用されるのか、その立ち位置はと言いますと、次のようになるのではないかと思います。「超我の奉仕」「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という二つのモットー、そして「ロータリーの目的」「四つのテスト」、更に「親睦」と「奉仕」、これら全てを大地としてそこに根を張り、「職業奉仕」という太い幹を生やし、大地から「奉仕の理想」という栄養を吸い上げながら、「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」あるいは「ロータリー財団」という実を結ばせるということだと考えます。



地区職業奉仕部門
委員 佐藤志郎様
ありがとうございます



節分例会 第1985回 2月3日(金) 慈星院にて

★ 大杉能弘副会長挨拶

皆様、今日は、本日は、磯会長が公務の為に例会に出席出来ませんので、代わりに会長挨拶をさせていただきます。今朝、磯会長より、会長挨拶のメッセージを頂いておりますので、お伝えいたします。暦の上では、今日の、節分で新しい年になります、会員の皆様には、此の節分例会に於きまして、鬼を追い払っていただき、この一年、福がありますように願っております。そして、明日は、立春になります。今日のような温かい日が続けばよいですね。今月は、水曜日の例会が全て、変更になっておりますので会員の皆様にはお気を付け頂きたいと思っております。10日には、インターアクトの学生が韓国より来日致しますので、役割を頂いております方は宜しくお願い致します。本日は、慈星院様での恒例の節分例会になりますので宜しくお願い致します。



★ ニコニコ出席報告 9口 11,000円 累計456,500円
 大杉能弘・小林忠・今村勲・田中一任・藤原忠雄・槇孝夫
 増田徹・山口久仁幸・森田康之 会員20・出9・計算16・56.3%

◎会長 磯 利昭 ◎副会長 大杉 能弘 ◎幹事 小林 忠 ◎SAA 山口久仁幸 ◎広報委員長 今村 勲
 例会場 東京信用金庫 蔵支店内 川口市芝新町9-10 例会日 毎週水曜日 点鐘：12：30
 事務所 川口市芝2-4-25 Tel：048-423-0443 Fax：048-261-9756
 E-Mail kawaguchi-nrc@bloom.ocn.ne.jp U R L kawaguchinrc.jp/

